

揺らぐ媒質を伝搬する 光の乱れの理解とその克服

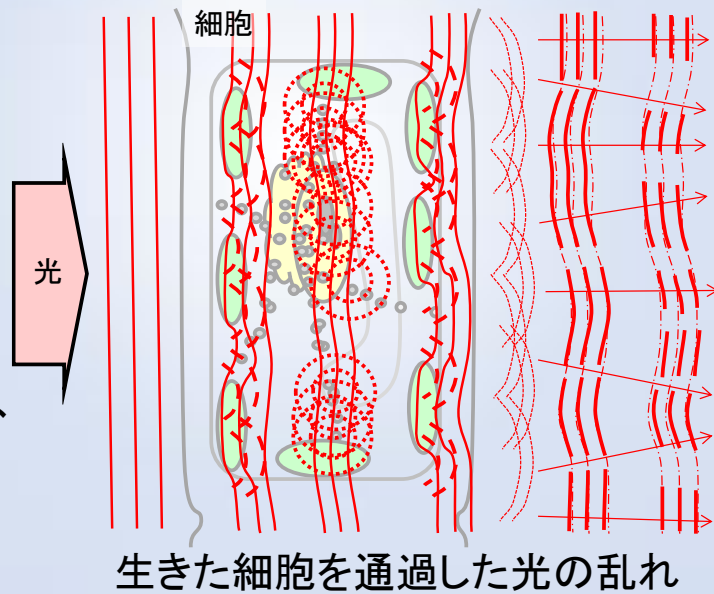
日時: 令和2年3月15日(日) 9:00~12:00(予定)

場所: 上智大学 四谷キャンパス

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

見どころ:

光を用いた計測や観察の際、光が伝播する媒質にはしばしば揺らぎが存在します。媒質の揺らぎと光を乱れは、しばしば計測などの精度を落としますが、それ自体が重要な情報を含むこともあります。本シンポジウムでは、媒質の揺らぎや光の乱れの問題に携わってきた光学、光工学、天文学、生物学の研究者にご講演いただき、異分野融合によって光の乱れを理解、克服する研究について議論します。



招待講演者と講演タイトル(仮):

1. 武田 光夫 (宇都宮大学)
「散乱媒質の背後の物体を透視する3次元相関イメージング」
2. 高見 英樹 (国立天文台)
「地上望遠鏡を用いた天体観測における光の乱れとその克服」
3. 三浦 則明 (北見工業大学)
「相関法による光の乱れの計測: 太陽から生物顕微鏡へ」
4. 木村 健次郎 (神戸大学)
「多重経路散乱場理論の開発とマイクロ波マンモグラフィへの応用」
5. 玉田 洋介 (宇都宮大学)
「蛍光顕微鏡を用いた生細胞観察における光の乱れとその克服」

世話人: 服部 雅之 (国立天文台) 山本 裕紹 (宇都宮大学) 早野 裕 (国立天文台)

共催: 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業

「光の乱れの理解とその克服についての異分野融合研究」(代表 山本 裕紹)